

こ ん り ん し ゃ

AiraCity Nishikie Kindergarten

Phone 63-2038

Fax 63-2034



自分色の輝き

子どもたちが輝いた一日！発表会に向けて練習に取り組んできました。得意な分野もあればそうでない分野も・・・だけど・・・

だれもその子の上限を決めることはできません。どの子どもどの子も無限の可能性を秘めています。一律に同じ能力でなくていいのです。自分らしい輝きをもった生き方をするために、自分らしい歩幅でゆっくり、ゆっくり歩けばいいのです。苦労して歩いた分だけ、その人の価値となり、自分なりの輝きを放ちます。

ただ、できることは、子どもたちの内側にあるやる気に火をつけ、一人一人に内在する

よさや可能性を信じることです。子どもたちのやる気を引き出すのは、友だちでありクラスであり家庭や園の力です。

そして、それはやはり親であり教師です。

その総合力が、子どもたちの可能性を引き出し、一人一人に夢を抱かせ、それを育てていくのです。

また、今回の衣装は、すべて先生方の手作り！一針一針思いを込めて。身にまとった子どもたちをイメージしながら作っているんですと。温かいですね。

参観していただいた皆様、温かい拍手ありがとうございました。(^-_-)

出る杭（よさ）は伸ばせ！です。



にしきえ汁



今年も残りわずかになりました。たくさんの方々にお世話になりました。お陰様で子どもたちもすばらしい歳を重ねる事ができました。歳はその人の財産ですから。来年も財産となるような歳をとりたいですね。(^-_-)



白ポケさんのハンドベル！

一気にクリスマスモードに!!
白ポケサントさんも来てくれました。笑



餅つき大会



家庭教育学級では、県防災センターで「災害と防災」について研修してきました(^_^)v



毎年のことですが・・・

心の豊かさ

12月、街角にはイルミネーションがキラキラ輝いています。皆さんの家でも綺麗なクリスマス飾りをしているところもあるかも知れません。クリスマスはキリスト教。年越し除夜の鐘は仏教。初詣は神道と日本ほど宗教行事が混在している国も珍しいようです。

さて、むかしアメリカである少女が、「サンタクロースは本当にいるのですか。教えてください」と新聞社にお手紙を出しました。この答えに皆さんだったらどんな返事をするでしょう。少女から質問を受けた新聞社は、次のように答えました。

『「この世界に愛や人への思いやりの心があるのと同じように、サンタクロースも確かにいるのですよ。」「サンタクロースがいなければ子どもらしい夢も詩もときめきもなくなってしまおうでしょうし、私たち人の味わう喜びは、ただ目に見える物、手でふれる物、感じる物だけになってしまうでしょう。』

この新聞社の回答は、おいしい物、綺麗な絵、素敵な音楽などのように、実際に自分で見たりきいたりさわったりする世界も大事ですが、「やさしさ」「愛情」「感謝」、神様に「祈る」とか「夢」や「希望」とか、自分たちが直接見たり聞いたりさわったりできない「心」の世界も大事なのですと私たちに教えてくれています。大切なものは見えないんだよ。心を探さないで！